

プログラム名	荒川の治水の歴史や水防災、自然について学習支援		
団体名	荒川知水資料館		区分 リ 教 他 (現地見学)
対象者	<input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> コ	対象分野	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 研修 社会科見学・総合的な学習の時間・理科・生活科、高校の総合的な探究の時間

プログラムのねらい
 荒川の特徴や荒川放水路建設の経緯、荒川の治水や自然環境の現状等に関する学習支援を行うことにより、水防災意識の向上及び河川環境保全意識の啓発につなげることを目的とします。

プログラムの内容 必要コマ数 応相談

「荒川の歴史」「水防災」「荒川の自然」について、つかむ・調べる・まとめる・活かすなど児童生徒の学習段階に応じて、主体的・対話的な深い学びを支援します。

【オンライン学習】小学校1～6年、中学生、高校生対象

- ・資料館で学べる内容をご希望に沿って解説します。

【社会科見学】小学校3～6年生対象

- ・荒川知水資料館の館内、岩淵水門、旧岩淵水門の見学を通じて、地域に尽くした先人の働きや水防災など解説します。
- 「荒川の歴史」「荒川と青山土」「荒川と水門・防災」「荒川ロックゲート」

【総合的な学習・社会・理科】小学校3～6年生

- ・学習の目的に合わせて、以下の項目選んで学習活動を構成します
- 歴史 水門や堤防など野外施設や館内の展示の見学を通じて荒川の水害、治水、歴史について考える
- 防災 浸水シミュレーションや流水模型を活用し、堤防が決壊した場合の浸水状況や自身の行動のあり方について考える
- 昆虫 昆虫採集の観察を通じて生態環境を知り、荒川の自然の現状と課題を考える
- 植物 河川敷や観察池に見られる植物を五感で感じ、植物の生育環境の様子から現状と課題を考える
- 野鳥 河川敷での野鳥を目視や双眼鏡で観察する。観察を通じ生態系を理解し、自然の大切さを学ぶ
- 魚・カニ 北区子どもの水辺でカニや魚の捕獲体験をし、荒川の河川の現状と課題を考える

【生活科】小学校1～2年生

- 植物・昆虫・魚・カニなどの自然体験により身近な自然を学びます。



令和2・3年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> その他 () 令和2年度実績 (都内) 40校 (回) 令和3年度実績 (都内) 78校 (回)
	<input checked="" type="checkbox"/> 教科 (社会・理科・生活科) <input type="checkbox"/> 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input checked="" type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()

支援活動の概要紹介

荒川知水資料館は、現在の荒川放水路にいたる治水の経緯や、荒川沿川地域の現状に関する資料を収集、収蔵し展示しています。また、多くの人に荒川をはじめ、川や水について広く知っていただけるよう、事業や流域の各情報の受発信のほか、防災・環境教育の支援などの取り組みを行っており、荒川知水資料館や荒川河川敷を利用した各種見学・体験やオンライン学習をご案内しています。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能 3～4月は年度替わりのため申込なし。月曜日(祝日除く)・月曜日が祝日の場合翌平日・年末年始は休館。	必要経費	無料
その他 会場・定員・必要備品 などについて	荒川知水資料館 定員 140名 北区子どもの水辺 定員 100名		
連絡先	部署名・担当者	国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所 地域連携課 渡辺	
	プログラム紹介WEB	https://www.ara-amoa.com/	
	電話	03-3902-8745	
	e-mail	ktr-amoa@gxb.mlit.go.jp	